



元議委第73号
令和元年12月3日

南会津町議会議長 室井 嘉吉 様

南会津町議会総務委員長

湯田 哲



委員会調査報告書

本委員会所管事務調査事件について、調査結果を別紙1、2、3のとおり、会議規則
第77条の規定により報告します。

要 件 総務委員会所管事務調査

調査事件 南会津町第三セクターに対する町の支援について

調査内容

- ①対象:みなみやま観光(株)、会津高原リゾート(株)、会津高原フレンド・カントリークラブ(株)、南会津地方土地開発公社、(公財)南会津町振興公社、会津高原たていわ農産(有)、(有)伊南の郷
- ②施設ごとの指定管理委託料、業務委託料、補助金等支援の内容(財源含む)
- ③施設ごと指定管理委託料、業務委託料、補助金等の使途
- ④支援の効果
- ⑤過去 5 年分

調査日時 令和元年 8 月 27 日(火)午前 10 時から 11 時 30 分

調査場所 中会議室 2

出席者 委員長 湯田 哲 副委員長 川島 進

湯田 芳博 菅家 幸弘 星 光久 室井 嘉吉

議会事務局長 鈴木 雄蔵

説明員 総合政策課 小寺俊和課長 阿久津政臣係長(企画政策)

【調査内容】

町：(第 3 セクター法人 7 社についての過去 5 年間の指定管理料、業務委託料、補助金としてまとめた表を参照しながらの説明、みなみやま観光(株)の南郷ホームについては指定管理ではないとの補足あり) みなみやま観光株式会社を例にとって説明しますと・・・

議員：その説明だと補助金の使途、効果は把握していないとのこと、どこが把握しているのか。

町：今説明した表の中のかっこ書き内にそれぞれの所管が書いてあるのですが、たとえば商工観光課とか、南郷総合支所の振興課とか書いてそこが把握している。

議員：所管が把握しているものを総合政策課にあがってくるシステムになっていないのか。

町：総合政策課では事業内容、支援の効果、財源等について上がっている仕組みにはなっておりません。

議員：施策マネジメントシートであがってくるものではないのか。

町：施策マネジメントシートは各課から提出をしてくるものであって、その中身について総合政策課で個別に確認してまとめているもので、総合政策課の所管ではありません。

議員：そういうシステムになっていないので、業務としてしょうがないのかもしれないが、総合政策課ですから、総合的に政策を遂行して、その政策がどういう効果あるいは評価を得ているか。それによって町の予算を配分して次の政策につなげていくことが総合政策課の持ち味だと私は思うのですが。そこはどうお考えですか。

町：総合政策課で第3セクターに関しましては経営評価に関する事項ということで事業にあがっている。当然経営評価をするということで中身は確認することは必要ですが、そちらの資料に上げました個別それぞれの中身についての把握はしておりません。全体的に第3セクターの考え方これからの方向性というところは総合政策課で所管しています。

議員：考え方の違いなのでしょうけど、そうするとこれを総合政策課に、たとえばそれぞれの補助金の使途とか、支援の効果とか上がってきて次の政策を考えていくつくりあげていくそのシステムは町長の権限なんですか、だれがそのシステムをつくるんですか。

町：当然こちらは予算がともなうもので、予算査定の中で総務課長、副町長、町長という段階を踏んだ中で、中身については総括して次の政策につなげていくというかたちになっている。

議員：総合政策課の提案事項になりませんか。

町：総合政策課では第3セクターの改革プランというものをつくっています。何年かに一度ということで、常にやっているものではありませんが、最初にスタートしたのが平成21年この中で3セクターの管理するスキー場をはじめとした観光施設、この在り方についての今後の方針等について、提言をいただいたり、それを政策に反映するというような事業をしておりますので、個別の委託料についての中身についてどうこうすることは予算査定の中での話になります。

議員：人とか立場とかいろいろあると答えは中々出せないのでしょうけど、経営評価をしたり改革プランをねるという事は、実態が分からなければできない。

個々のとといいますけど、個々をトータルしてそれからどういう評価をして、ひとつひとつ効果があったそれがある意味では投資と評価、バランスといいますか調整なわけですから、効果がないところにお金を投資するのはありえない事です。しかし民間と違って行政ですから、そこにはいろいろな地域性ってものがともなってきた、たとえば雇用の安定を考えて、いろいろな分野がはいってきて簡単にはいかない。それはそれでやっぱり改革プランに踏み込んでいく。私はそう思うんですよ。ですから今の話を聞いて、こうしなさいとは言いませんから、私としては非常に大きな疑問を残した。

町：先ほど述べたように財源等については把握していませんが、全てが一般財源ではないということは言えます。

議員：それは総務課で把握しているのか

町：財政係、いわゆるその所管課です。
議員：町の財政運営をするときに、一般財源っていろいろなところに使えるんですよ。こういうことにどういう比率で使われているか分かりませんが、まだまだ一般財源を使って住民福祉をしなきゃなんないものってあると思うんですよ。そこに一般財源がまわる余裕があるかないかを知りたい。それはこの次総務課を呼んでやるように要望しておきます。
議員：みなみやま観光の6月の定例会で職場環境について社員自らいろいろ出して欲しいと町長からあったというのが、職場環境を町長は把握しているのか。
町：みなみやま観光、会津高原リゾートは社員が多いですから社長と面談してこういう改善をしているとかは把握していない。
議員：だいくらスキー場のグリーンシーズンの活用計画について聞いていますか。
町：だいくらスキー場の活用につきましては総合政策課で個別に対応せずに、本庁の商工観光課、他の3スキー場につきましてはそれぞれの支所の振興課が対応している。
議員：町長はグリーンシーズンを何とかしたいと言っているのか。そのグリーンシーズンに対する研究開発はしているのか。それは誰としているのかタイムリミットはいつなのかあるいはその組織とか人事戦略はどうしていくのか。どうあるべきなのかなど、そういうことを聞きたいのだが、そのためには全部の担当課を呼ばなければならないのか
町：施設ごとの財源は総合政策課では把握しておりません。この調査までの短期間の中で資料としてまとめることが出来ませんでしたご理解ください。
議員：例えばみなみやま観光でだいくらスキー場事務所にグリーンシーズンの利活用について聞いていますか。
町：だいくらスキー場については商工観光、他のスキー場においては各種の振興課が担当しております。総合政策課では把握しておりません。

【所見】

町から指定管理、業務委託、補助金を受けている第3セクター6社の過去5年間の状況を調査しました。2014年から2018年の5年間で約19億2900万円、平均すると年間3億8500万円が使われています。(別表参照)

これらの予算は雇用の創出をはじめ住民の健康福祉、本町の観光産業の活性化などそれらの法人が運営、機能するために使われています。

調査の中では町が毎年多くの予算を投じるのだから、町もその組織体制、経営方針などまで関与してもよいのではないか、その予算への責任があるのではないかという意見や、その予算の使途や効果を各担当課だけでなく総合政策課で全てを把握する仕組みにすべきではないかという意見なども出されました。

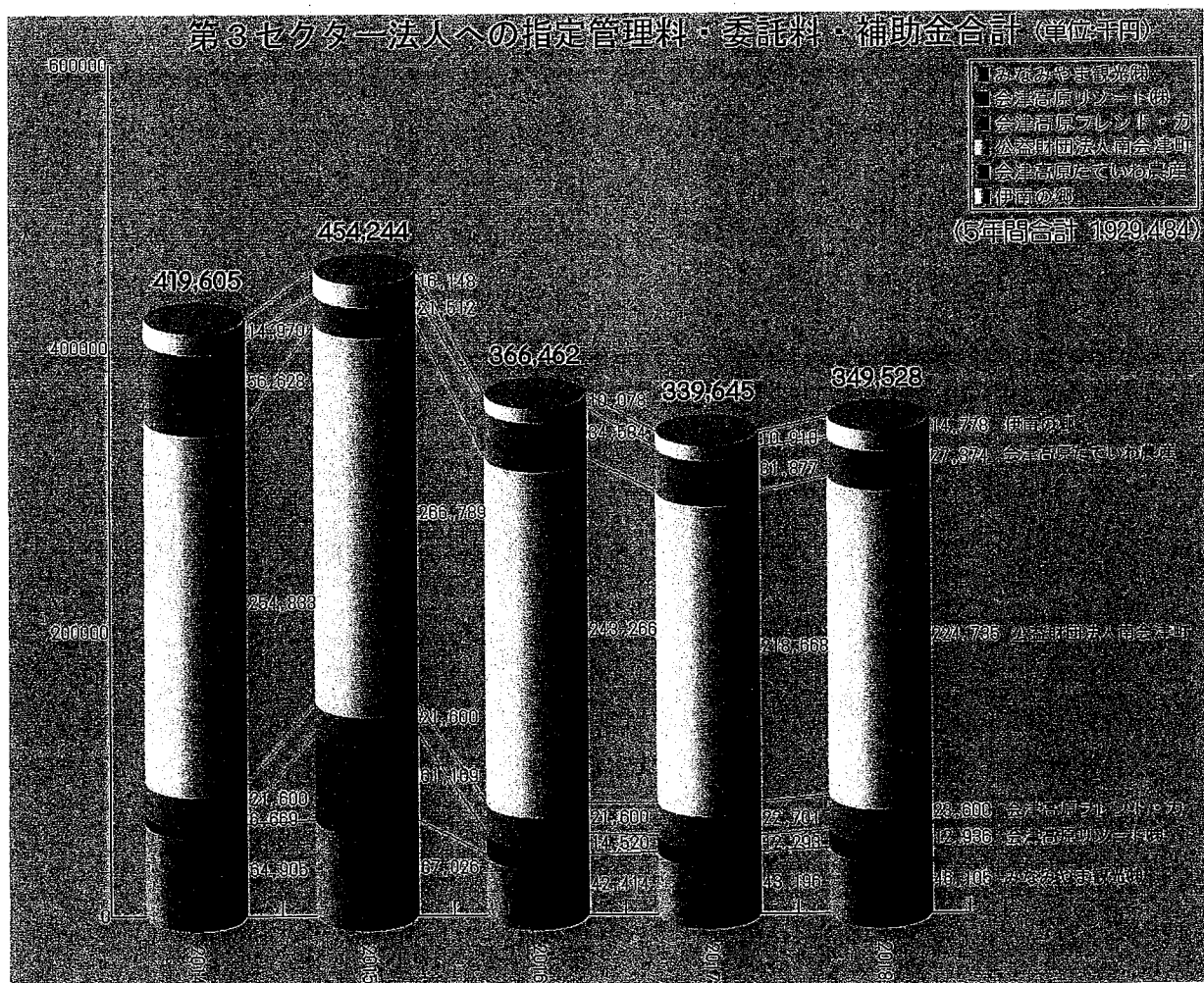
今後総務委員会では、それらの予算がさらに有効に使われ住民健康福祉や町活性化に貢献できるように調査研究を進めていく予定です。

(別表)

第3セクター法人への指定管理料・委託料・補助金合計

(単位：千円)

第3セクター法人名	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	5年間合計
みなみやま観光㈱	64,905	67,026	42,414	43,196	46,105	263,646
会津高原リゾート㈱	6,669	61,169	14,520	12,293	12,936	107,587
公益財団法人南会津町振興公社	254,833	266,789	243,266	218,668	224,735	1,208,291
会津高原フレンズ・カントリークラブ㈱	21,600	21,600	21,600	22,701	23,600	111,101
会津高原たていわ農産㈱	56,628	21,512	34,584	31,877	27,374	171,975
伊南の郷	14,970	16,148	10,078	10,910	14,778	66,884
合 計	419,605	454,244	366,462	339,645	349,528	1,929,484



要 件 総務委員会所管事務調査

調査事件 「みなみやま観光株式会社」にかかわる下記事項についての町としての対応状況について

調査内容 ① 運営組織、運営方針について
 ② 各施設の組織体制について
 ③ 各施設の決算状況(東電補償額の推移等含む)を踏まえた課題と対応について
 ④ 人的、財政的支援の今後の考えについて
 ⑤ 南郷スキー場の指定管理に伴う準備状況について

調査日時 令和元年10月28日 午前10時から11時30分

調査場所 中会議室2

出席者 委員長 湯田 哲 副委員長 川島 進
 湯田 芳博 菅家 幸弘 星 光久 室井 嘉吉
 議会事務局長 鈴木 雄蔵

説明員 小寺俊和総合政策課長、星良栄課長補佐兼地域振興係長
 羽染正巳商工観光課長、渡部秀介課長補佐兼観光交流係長
 酒井浩哉南郷総合支所長、平野芳和振興課長、大桃悟企画観光係長

【調査内容】

町：(みなみやま観光株式会社の組織の説明あり) 町として組織についてや運営方針についての指導的アドバイスはしていない。
議員：町が出資している。町長を責任者として運営の責任を担う。チェックを入れる。そういう役割があるのではないか。
議員：予算というのはすべての条項とか条例を知ったうえで予算措置をすることによって条例は魂が含まれる。組織だって予算を伴って魂が含まれ行動ができる。 町として人的、財政的支援しているみなみやま観光の運営方針が説明できないのはおかしいのでは。総会時に会社の経営方針も示されているが、出資している会社の方針なども含めて全て把握しているべきではないのか。
町：経営方針についての資料は手元にないが、每期ごとに事業計画をどのように進めていくか、どのように運営をしていくかについては、私どもの方に報告並びに説明に立ち会っております。例えば今期ですとみなみやま観光の中核をなす道の駅とだいくらスキー場の営業が低下している。その対策を講じるようにということでオリンピックイヤー、カード決済等について対応を進めては。と話してます。維持管理費の削減に当たっては、電力契約の見直し等のアドバイス安定的利益を確保するための給食事業等の話をしていく。

議員：町からの資金が投入されない指定管理しているところもあるのに、なぜ、みなみやまは財政的支出をしているのか。人まで出して指定管理しているのはなぜか。どこが違うのか。

町：だいくらは、指定管理料を支払っている。その他の観光施設は指定管理料を支払わないでお願いしている。南郷スキー場についても、これまでマックアースに対して指定管理料を支払わないでお願いしてきた。今回、みなみやま観光に指定管理料を支払って運営することになったことについては、臨時議会等でも説明したとおり南郷スキー場は地域になくてはならないものでマックアースの突然の撤退ということになり、南郷スキー場の存続のために補助金という形で出すこととした。今回は特別な事業、政策的判断と考えている。

議員：政策的判断のため町長に判断材料を出すのは担当部署です。その担当部署が日頃から運営方針に南会津の実態が合うのか合わないのか、社会的ニーズがどう変わってきているのか。その中でこの組織で対応できるか。そこを引っ張って行くのは取締役会、出資者、あるいは政策的支援を判断する町長です。その町長に判断材料を提供してあげなければ、誤った判断をする可能性がある。そこのところを私は、皆さんが認識をして、あなた達が職員でよかったと言われるような仕事をしてほしいから言っている。

町：各施設の決算状況、課題、対応については、「だいくらスキー場」については、全国的スキー、ボーダー人口の減少、客単価の低下等の課題があります。対応策として、スキー場の特色を生かしたPR、誘客活動を図っていききたい。シーズン券の早割など。交流人口の増加に寄与している。「リゾートイン台鞍」は、夏の合宿、冬のスキーシーズンはある程度の誘客は図られているが、年間を通した誘客が必要と思っている。

「道の駅たじま」は、甲子峠の開通により、流れが変わり、交通量の減少がみられる。施設の老朽化も進んでいる。食堂がなく収益が上がりづらい。対応策として、地域の特色を生かした特産品を販売し、収益を上げたい。年次計画で修繕等を進めたい。

「憩の家」は、リバティ会津の運行により増加したが、鉄道利用者の減少がある。広域連携のもと利用者を増やしたい。「ステーションプラザ」については、会津鉄道の玄関口の管理を委託しているものです。

議員：決算に基づいた課題と対応、赤字決算、黒字決算いろいろある。それぞれ今後どういうことをしていくかというような課題と対策のペーパーがありますか。

議員：赤字決算をしている中身に東電補償かあると思う。もし、東電補償がなかったらもっと赤字額が増えるというデータを持っていますか。

町：各施設ごとにヒアリングを行い、スキー場、道の駅たじま等、実績報告をいただいておりますので、その中で、年度ごとに特色、状況、課題、対応策ということでまとめてある。

議員：後からでいいので、先ほど言ったヒアリングの時のペーパー、東電補償と補償がない場合の決算を出していただきたい。いかがですか。

町：ヒアリングの時のペーパー、今言われた東電の補償がなかった場合のペーパーは、上と相談して対応します。

議員：マックアースから指定管理料を出してやってくれということはなかったのか。マックアースがこれではだめだと言った時点で指定管理料を出すというような協議はあったという町の説明だが。
町：南会津町でその赤字分を補填していただければ、もう1年間継続するという話はあったが、後1年間だけです。その後はありません。ということでしたので、町としては、財政支援をするには至らなかったというのが経過です。
議員：みなみやま観光の18期の事業報告書の19ページ賃貸借対照表見てください。資産の部、固定資産の標記の仕方について後で教えてください。
町：誤りであるか確認、誤りでなければなぜそうしたのか後で報告します。
議員：南郷スキー場への人的、財政的支援について説明下さい。
町：人的、財政的支援というより準備状況について申し上げます。8月1日からみなみやま観光が指定管理者となり、今シーズンの営業は定休日を設けずに12月21日から3月29日までを予定しています。10月1日からは、町の職員が派遣され、南郷スキー場の管理課長として、オープンに向けて索道施設やゲレンデ、建物の管理を行っています。季節従業員の募集については、今までの従業員への呼びかけや新聞折込にて行っている。多数のお客に利用していただくため、各種イベントへの参加やスノーボードショップへの営業活動、SNSの利用で誘客に努めている。一般客を増やすため、当然教育旅行も営業していくが、今シーズンの営業にすぐ反映できないので、離れてしまったボーダーを狙い、満足できるゲレンデ整備をしたい。以前のボーダーもファミリーとなっているので、子供料金を1,000円値下げして、1,500円として取り組みたい。南郷スキー場の立地を見ると南郷エリアの中心部に位置することから町場のスキー場と考えていて、子育て世代が集まれるカフェのようにできないか、帰省客が気安く来れる仕組みができないかというような営業活動を行っています。
議員：当初マックアースは、委託を受けた時、自分たちですべてまかなってスキー場をやります。ということだった。1番はリフトの整備。資格も持っている。メンテナンスも安くできる。という話だったので、経営状況もすごいと思っていた。ここにきて南郷スキー場の状態も変わってきている。さいたま市の浦和の施設はどうなっているのか。ホテル南郷。
町：ホテル南郷は、改修工事が終盤に差し掛かっている。来年2月にオープンの予定。外構関係はほぼ終わっている。
議員：その施設と南郷スキー場で一緒にやっていく考えは。誘客の考えは。
町：ホテル南郷宿泊者にスキー場に来てもらえるよう、支配人がさいたま市のイベント、スキー・ボードショップを回って誘客に努めている。
議員：2つの施設の利用によって、南郷スキー場の在り方も変わってくると思う。これからスキー場の誘客は、難しい。我々は半年間は雪の中で、暮らさなくてはならない。どんなことがあっても、この施設を求めるのであれば、キャラバンとかもっと施設を良くしていく

ためには、誘客を図るということを目指にやっていくべきだと考えるが。

町：団体教育旅行の営業活動ですが、越谷市の学校15校、みなみやま観光と私が出向いて来年度以降の教育旅行の説明をしてきた。結果、2校から12月末に保護者向けの説明があるので、参加してほしいと話があったのでプレゼンを行ってきた。これまでマックアースリゾート、さゆり荘、ホテル南郷、連携を取りながらやってきた。スキー場もすべて宿泊施設もみなみやま観光一本になったので、いろんな企画ができると考えている。支所としても地元のスキー客を増やそうとトマト農家とかスキー関係者等を集めて振興協議会を立ち上げて、地元としても精一杯営業をしたい。

【所見】

マックアースが今シーズンから南郷スキー場経営から離れた。さいたま市の教育旅行が全て高杖スキー場に移った分、入込人数減、収入減が最大の原因であった。そのマックアースに代りみなみやま観光株式会社が町の指定管理料を頂きながら運営することになった。

これについては議会の中でもそれぞれへの対応の不公平感や今後の南郷スキー場経営への不安などの意見がある。これまでマックアースは指定管理料が無い状態、経費削減などに取り組みながら様々な努力とともに経営をしてきた。60万円未満の修繕費は自社持ちなので、修繕箇所が見つかったとしても何とか自社できる修繕できるところは修繕し、何らかの手立てをし、あらゆる場面で知恵を出しながらやってきたのも事実。今後、指定管理のありかたやその対応の違いについて改善の必要性はあったと感じた。

活動テーマ 指定管理施設の管理業務等の情報・意見交換

内 容 ①指定管理施設の管理業務について
②指定管理施設の修繕箇所について
③指定管理施設の課題について

日 時 令和元年11月25日 午前9時から4時30分

場 所 (1)みなみやま観光株式会社(ステーションプラザ会議室)
(2)株式会社マックアースリゾート福島(きらら 289 会議室)
(3)株式会社共立メンテナンス(花木の宿会議室)
(4)会津高原リゾート株式会社(アストリアホテル会議室)

出席者 委員長 湯田 哲 副委員長 川島 進

湯田 芳博 菅家 幸弘 星 光久 室井 嘉吉

随行人員 議会事務局長 鈴木 雄蔵

(1)みなみやま観光株式会社

管理業務

【平成30年度実績】

道の駅(利用人数 259,388 人)

売上高 239,339,401 円

憩の家(利用人数 29,149 人)

売上高 26,349,127 円

だいくらスキー場(利用人数 74,773 人)

売上高 143,403,507 円

リゾートイン台鞍(宿泊人数 3,204 人)

売上高 30,538,585 円

さゆり荘(宿泊人数 5,549 人)・

売上高 59,503,665 円

ホテル南郷(宿泊人数 3,234 人)・

売上高 25,586,702 円

赤岩荘(利用人数 24,854 人)

売上高 10,239,031 円

課題及び問題点

みなみやま観光株式会社全体では、東京電力賠償金35,312千円が入金しての2,620千円の赤字決算です。間もなくその補償も終わります。今期の決算の数字をもとに補償金を0円として計算すれば6,000千円以上の赤字ということになります。今後の経営、新しい経営戦略もってその時にそなえる時期だと考えます。

(2)株式会社マックアースリゾート福島

管理業務

◆南郷交流促進センター・物産館(道の駅きらら 289)

【平成 30 年度実績】

- ・入浴者 48,778 人
- ・売上高 124,230 千円(前年より約 200 万円増)

課題及び問題点

- ・修繕費については、60 万円未満の修繕費のため自社負担だった修繕費合計が 200 万円を超えている。今後の年度内の修繕予定を合計すると 300 万円程度になる。大きな負担である。
- ・修繕箇所では予算は現状復旧しかなく、予算改善策を考えてほしい。
- ・駐輪場及び駐車場の確保 道の駅になり単車(バイク)の利用者を含め利用者が増えてるにもかかわらず、現在の駐車場の駐車収容台数が少ないため利用できず通過していく単車や乗用車が見受けられる。

◆会津高原南郷スキー場

【平成 30 年度実績】

- ・入込数 27,541 人(前年度より 12,320 人減)
- ・売上高 37,150 千円(前年度より 32,211 千円減)
- ・営業利益△16,177 千円(前年度より約 17,235 千円減)
- ・さいたま市立の中学校冬季スキー教室の受け入れは無し。

◆会津高原高畑スキー場

- ・入込数 35,515 人(前年度より 624 人増)
- ・売上高 58,314 千円(前年度より 8,431 千円減)
- ・営業利益△3,011 千円(前年度より 7,279 千円減)

(2018-2019 シーズン)

- ・シーズン券販売枚数 2,019 枚
 - ・ふるさと納税(5 万円)申込件数 111 件
- シーズン券売上合計 19,197,500 円

(2019-2020 シーズン)今シーズン令和元年 11 月 23 日現在

シーズン券販売枚数 2,062 枚(前年度より 43 枚増)

- ・ふるさと納税(5 万円)申込件数 181 件(前年度より 70 件増)
- シーズン券売上合計 19,365,500 円(前年度より 168,000 円増)

課題及び問題点

- ・老朽化により修繕費が毎年増えている。
- ・人手不足。

(3)株式会社共立メンテナンス

管理業務

◆小豆温泉花木の宿

・平成 30 年度総売上 100,698,992 円

宿泊者数 6,182 人

・令和元年 4 月～9 月総売上 47,790,551 円

宿泊者数 2,867 人

売上内訳

宿泊売上 41,495,347 円 飲料売上 4,068,325 円

物販売上 1,171,780 円 自販機売上 121,796 円

その他売上 933,303 円 入湯税 421,200 円

課題及び問題点

- ・老朽化により修繕費の増加が大きな課題である。

(4)会津高原リゾート株式会社

管理業務

【平成 30 年度実績】

- ・入込数 209,550 人延宿泊者 42,477 人
- ・収入額・ 897,261 千円
- ・運営経費 918,122 千円(人件費 277,347 千円)
- ・当期利益 80,239 千円

修繕箇所(計画)

スキー場	① 支柱の塗装 ② 定期的な機械のメンテナンス ③ スカ 2 山頂停留所への防風柵の設置 ④ スカ 2 殿器格納庫の新設 ⑤ スカ 1 搬器の圧索機更新 ⑥ スカ 1 山頂 PLC 更新 ⑦ ゲレンデ放送設備の改修 ⑧ ゲレンデ内 wifi 設備の拡充
人口降雪機	① ポンプ、モーターのオーバーホール ②コンプレッサーの修理 ③水、空気配管の更新④貯水池の改修
スペース リフト	①スペース鋼板屋根の改修 ②スペース陸屋根からの排水溝改修

	③レストラン内カーベットの更新 ⑤スペース外壁の改修 ⑥スペース陸屋根防水の更新 ⑦暖房、給湯、給水管の更新 ⑧クロス、カーベットの更新 ⑨トイレ洗浄便座への更新 ⑩レストハウス厨房天井内排気ダスト断熱処理 ⑪ハイランド屋根塗装 ⑫ハイランド非常用放送設備の更新 ⑬スペース・ハイランドボイラーの更新
アストリア ホテル	① ボイラーの更新 ②クロス、カーベットの更新 ② 防水シートの更新 ④暖房、給湯、給水管更新 ⑤電気設備の改修 ⑥窓枠、サッシ、網戸の更新 ⑦ロッジ冷房設備の新設

課題及び問題点

教育旅行で、町内の学校や体育館など体育施設が少ないので、使用予約が他の団体と重なり使用できず、結果的にその団体が受け入れられないケースがよくある。芝生のサッカーグラウンドなどの新設も含め、この南会津町の自然の中での合宿を希望する学校、団体がある中、更に多くの合宿等を受け入れるためにも町内の運動施設の充実を希望する。

所見

- ① ここ数年連続して実施しているこの情報及び意見交換の中で出されるのが、どの施設も建設からだいぶ経過しているため老朽化が目立ち、修繕費が毎年増加しているという悩みです。その修繕費における要望として60万円以上の修繕費の場合は町負担ですが、60万円未満だった場合に指定管理受託者側の負担となることについて見直してほしいということです。指定管理の取り決めの決定当時と今の状況、社会情勢は大きく変わっているのだから見直しも検討すべきと考えます。その見直しについて担当部局へ指定管理者側で毎回要望をしているのは確かだが、議会としてもその見直しに向けて要望する必要がある。
- ② マックアースリゾート福島、共立メンテナンスとの情報交換の中でいつも感じることは、その観光を含めた様々なプロジェクトを常に改善し実施し続けなければならないという企業戦士の存在です。民間企業が戦略を立て実践していくそのノウハウを私たち議員も学べればと思います。この町の未来戦略に必要なノウハウがそこにはあるのだと思います。挑戦し続けなければならない民間の本気さ、力強さを感じるのである。町の未来を考えた時、行政サービスも含めそれら民間の知恵、戦略の技を借りながら本町も進む時なのかもしれない。
- ③ われわれ議員もこの調査が単なる調査だけで終わることなく直接、現場の声を聞くことで、その改善への現場の知恵や今まさに必要とする重要な要望について、その実現のために本気で取り組む必要がある。マックアースや共立メンテナンスなど民間の持っている知恵や技術、戦略など大いに学ぶべきだと実感した。